

アクティビティを創出する地域づくり

地区内のまちづくり計画方針

- ①劇場のコンテクストを継承
 - ・映画館発祥の地、芝居小屋が行われていたという地域のコンテクストを継承する。オープンスペースを広く確保することで人々のアクティビティが外に表出するような地域とする。そのために、商業施設はひとつの建物での複合化ではなく、小規模店舗や中規模店舗による複合化、住宅は職住の混合型を誘致する。
- ②現代版七ぶらの提唱
 - ・情報を享受する地域となることで、現代版七ぶらを提唱する。交通結節点でまちの情報を受け取ったひとびとは、まちを各々歩き、
- ③ダウンスケールのまちづくり
 - ・少子高齢化や人口減少の社会背景から、建物の規模の拡大は極力避け、ダウンスケールを伴うヒューマンスケールの街並みを推進する。

交通計画方針

- ①新規バSRートの策定
 - ・七間通りを通過していた路線を迂回させることでの基本的な自動車交通をなくし、モル化を実現する。
- ②七間通りの時間規制モル化
 - ・七間通りのみを対象範囲外も含めて時間規制のモル化とする。時間は10時～21時が目安。
 - ・車道と歩道は段差をなくし、舗装の変化（イメージハンプなど）で視覚的に分離する。
 - ・七間通りと背割道路との交差点は、モル化時間帯は車止め（ポールなど）を設置し、七間通りへの進入を禁止して横断のみとする。
 - ・対象敷地の北側の恒常的オープンカフェに対応し、南側にモル化時間帯のみのオープンカフェを設置する。配置は、小規模なものを左右沿道にジグザグに配置。
- ③交通結節点の集約駐車場について
 - ・規模は、圧迫感を考慮し2層分を目安に（対象範囲内の駐車場分+駅周辺部の容量を加味した台数は確保したいところ）
 - ・外装意匠は、スリットによって透明感を出しつつモザイクタイルの雰囲気や踏襲する。
 - ・集約駐車場②は、横に新しく路地を設けて表裏をつなぎ、まちの情報の簡易版を併設して、乗り換えとまちの回遊を促進する
- ④フリッジ駐車場について
 - ・集約駐車場以外に、対角線上にフリッジ駐車場を設置する。フリッジ駐車場は近隣住民の自家用車駐車場とし、対象範囲内の基本的な自動車交通を少なくする。
 - ・業者の荷おろしもフリッジ駐車場で行う。
- ⑤駐輪場について
 - ・駐輪場は、対象範囲内に分散させる形で、各施設の近隣に配置する。
 - ・集約駐車場近くの駐輪場では、レンタサイクルも実施。

既存建築物有効活用計画方針

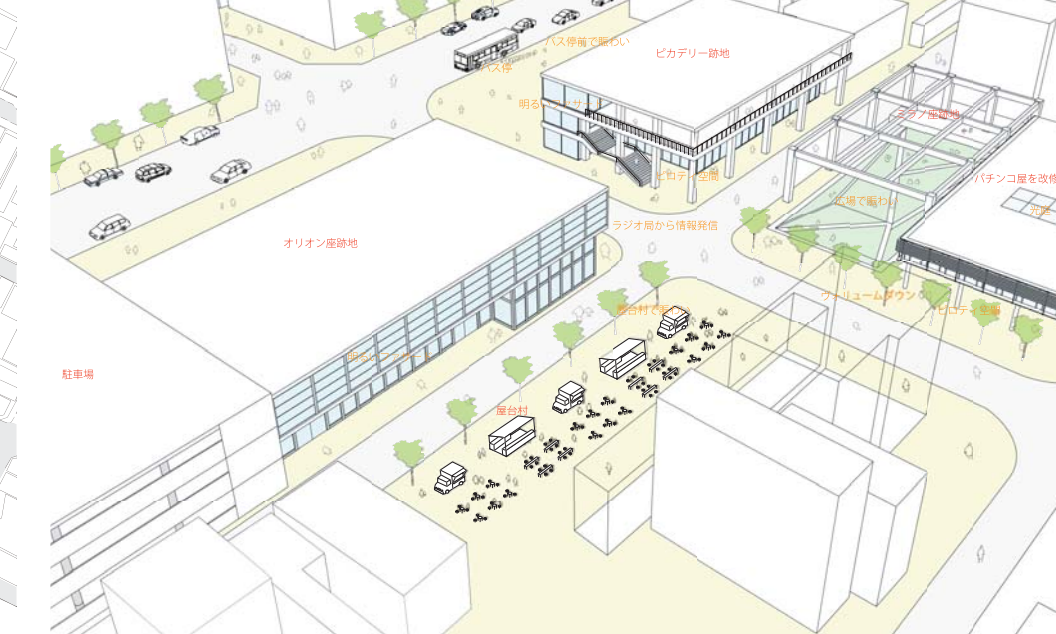
- ①建物利用活用
 - ・映画館跡地は、耐震補強を加えて再利用し、増改築の際は減築を基本とする。いまままで建物内のアクティビティが表に表出していなかったのに対して、増改築後はガラスのファサードや吹き抜けなどから、建物内外に賑わいがにじみ出すような施設とする。
- ②映画館のコンテクストの継承
 - ・映画の「見る見られる関係性」を建物形態に反映させることや、情報の享受を積極的に行う施設として、映画のメディアという側面を継承する。

全体図

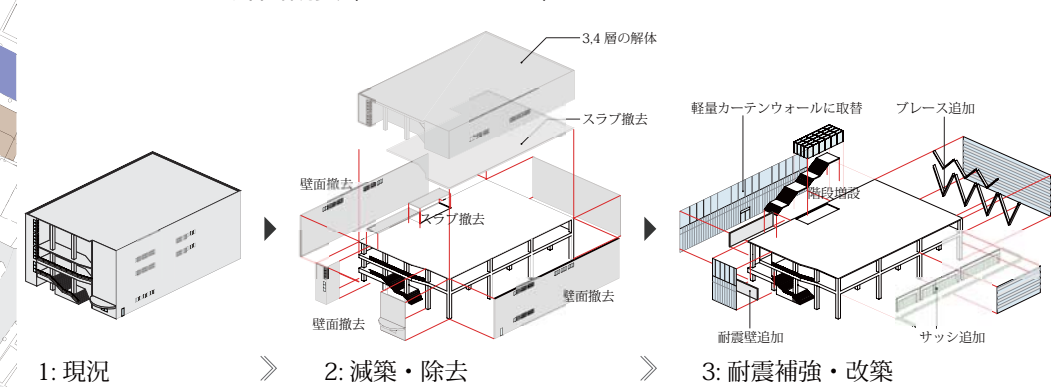
・対象敷地内の主要施設の配置、土地利用の方針



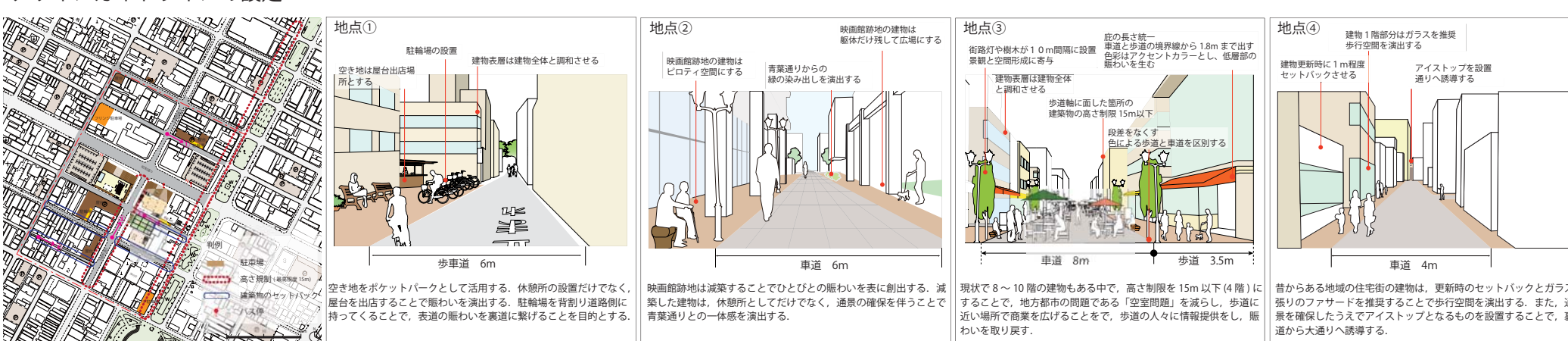
映画館跡地周辺鳥瞰図



コンバージョン計画概要 (ex: 静岡ピカデリー)



デザインガイドラインの設定



既存建築活用施設の概容

a: オリオン座跡地	b: 静岡ピカデリー跡地	c: 静岡ミラノ跡地	d: パチンコ屋
<p>説明</p> <p>オリオン座跡地と隣接する小規模建物群と駐車場を一体的に整備する。駐車場は1フロア約500台集約でき、遠方からの来街者に対応することが出来る。</p> <p>映画館跡地は、地下1階の劇場の躯体を多目的ホールに活用する。インフォメーションセンターやラジオ局などの情報の発信・受信機能を内包する。</p>	<p>説明</p> <p>まちの情報として「まちのモノ」を内包する。まちに点在する様々な店舗の商品や、飲食店の商品があり、訪れたひとは静岡市の店舗の情報を5感を使って体験することが出来る。</p>	<p>説明</p> <p>映画館の躯体だけを残して他を解体した広場、映画館の発祥の地として記念碑や、映写機を展示する。異なる高さのランドスケープが、新たな舞台性を誘発する。</p>	<p>説明</p> <p>パチンコ屋を改修する。「まちのコト」の情報を内包するこの施設では、展示会をはじめとした様々なイベント会場として利用することが出来る。</p>

地区内のイメージ

新たに整備された通り抜け道を望む。

静岡市の名物であるおでんの屋台や、アーティストの舞台である屋台が通りを彩る。昔から形成されてきた住宅街と、まちの資源のひとつである屋台が融合する。



七間町交差点から七間通りを望む。

映画館跡地は軽量のガラスのファサードとなり新しいまちの顔となる。オリオン座跡地の2階のラジオ局からは、市内全域に七間町の情報と静岡市の情報が伝達される。



既存建築の増改築後の空間利用イメージ

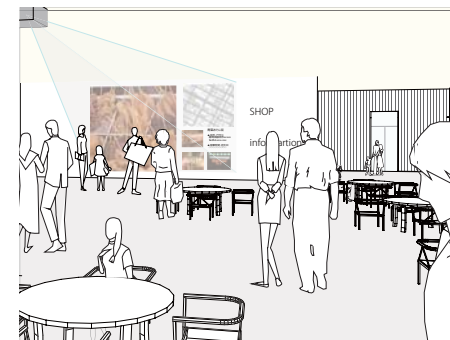
a: オリオン座跡地/B1F 多目的ホール

地下の映画館の跡地の躯体のみを残して多目的ホールとして使用。地上1階と吹き抜けた大空間に多くのひとが訪れる。



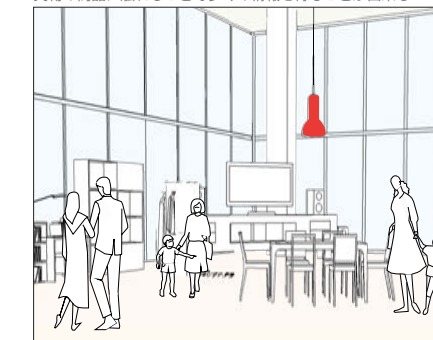
a: オリオン座跡地/1F インフォメーションセンター

映画館利用時に使用していたプロジェクターを使用して壁に情報を掲示。日常的な情報からイベント情報、様々なまちの情報が照らし出される。



b: 静岡ピカデリー跡地/1F まちのいえ

静岡市に点在する店舗の家具などで構築された「まちのいえ」。実物の商品に触れることで多くの情報を得ることが出来る。



d: パチンコ屋/1F まちの公民館

様々なまちの出来事をイベントとして使用することが出来る。ギャラリーとして、料理教室として、内容は多岐に渡る。

